

親の発達を促す省察的な家族対話を支援する

# Family Portfolio

に関する研究

佐藤 朝美

東海学院大学

荒木 淳子

産業能率大学

今野 知

株式会社Switch・  
エンタテインメント

佐藤 慎一

日本福祉大学

## 【概要】

本研究は、親の発達に重要な「親としての気づき」と「親子の相互作用」を促す省察的な家族対話を引き出すファミリー・ポートフォリオを構築し、実践と評価を行うものである。家族は多様化しており、多様な支援が行われているが、家庭の教育力向上のためには、親自身が子育ての楽しさに気づき、発達していくことが重要であるという。そのために本研究では、省察的な家族対話を引き出すよう支援し、家族内において学び合い、親として成長出来る場として機能するよう環境を構築する。家族支援、親教育、生涯発達やポートフォリオ等の研究知見をもとに、子どもの写真や映像、日記等、成長記録を取りためるという日常の行為を、本研究で提案するファミリー・ポートフォリオを用いることで、親としての発達を促す学びにつなげたいと考える。

(日常的な活動)



子どもや家族の記録  
写真・動画作品



気づきや発見  
考えたことの記録  
SNS・ブログ



## ファミリー・ポートフォリオ



LP  
ティーチング・  
ポートフォリオ



TP  
ラーニング・  
ポートフォリオ

TPやLPを  
発達ごとに  
整理して表示

家族新聞  
やDST等  
の作品制作

(定期的な活動)



省察的な  
家族対話



親としての気づき (Parental Awareness:PA)  
親子の相互作用 (Interpersonal Interaction Themes:IIIT)

## 参考文献

- Cohen, L. J. (2002). Playful parenting: An exciting new approach to raising children that will help you: Nurture close connections, solve behavior problems, encourage confidence. New York: Ballantine Books.
- 柏木恵子 (2003) 「家族心理学—社会変動・発達・ジェンダーの視点」 東京大学出版会
- Thomas, R.(1996) Reflective dialogue parent education design: Focus on parent development. Family Relations 45.2,pp189-200

## 謝辞

本研究は、平成25年度科学研究費補助基盤研究(C) (課題番号:25350923 代表:佐藤朝美)の助成を受けている。